

土岐まちなか 居場所 (BASE) づくり計画！ プレ・ワーキング(Pre-WG) を開催しました

主催：土岐市、(株)UR リンケージ



土岐市では、まちなかの課題として土岐市駅周辺を市の玄関口としての魅力や賑わいを取り戻したいと考えています。有識者等による「土岐市まちなか未来会議（未来会議）」を設置し、「土岐市駅周辺のまちづくり基本構想（「基本構想」）」を策定予定です。

今まで開催した市民ワークショップでの提案、まちなか未来会議での議論等を踏まえて、「BASE(居場所)」は、早期実現を目指したい。市民WSの提案は実現するには？ まずはみんなでやってみよう！」を合言葉に、BASE づくりに向けた基本的な枠組みを検討することにしました。

プレ・ワーキング(Pre-WG) ◆日時:2025年3月16日(日)9:45~12:00 ◆場所:土岐市役所 1階多目的スペース

NPO など市内で活動されている 6 名、土岐市職員 3 名が参加したワーキングとなりました。高校生、初参加の方も参加し、今までの市民ワークショップのふり返りから、2045 年の目指す土岐市駅前の姿や今後実際に BASE (居場所) を開設する際に必要なターゲットや時期、場所などを話し合いました。



つなぐ・つながる・つなげる BASE

【2025 年度はまず一ヶ所を社会実験として BASE を開催しよう！】

■ターゲット：はじめは市内の人（駅前にはいない人を駅前に呼びたい）、その後市外の人につなげていく

（一日の時間、一週間の時間帯により年齢層は変わる可能性が高い。中高生は土曜日に部活があることが多く、土曜は参加しにくいなど。）

■場所の立地条件：駅周辺の立ち寄りやすい場所
※将来的には一ヶ所でなく、駅周辺に点在していることが大事。そのことが、まちなか全体の賑わいにつながる。

■コンテンツ：学生が小学生にお勉強教えるなど学生×学び、学生×食、学生×商店街、学生×〇〇など学生との連携、学生がコンテンツ運営に関わる仕組

・市の 70 周年 WS や既存団体との連携
・サイエンスワールドや子供がやりたいと思う事など

■その他：今後 BASE でのコンテンツやターゲットなどを考える時に、時間帯ごとの年齢層やニーズは、アンケートなど本当に必要があるか、確認した方がいいのではないかな？

・平日は日々の活動の“ついで”に BASE に寄り、休日は目的を持って寄る可能性が高いため回遊性を考慮したい

・女性はちょっと話ができるなどで寄るが、男性は目的を持って寄る可能性が高い

社会実験での方向性(ファーストステップ！)

■つなぐがキーワード（誰と？いつ？どこで？などを考えたい）

■まずは土岐市民に向けて

■一日の時間ごとに様々なターゲットに向けて行う形

■次につながる“きっかけ”づくりが出来る場所を目指す

■平日の社会実験は 2025 年度早めに実行し、休日はイベントとの連動を行う

